

CAR No.34,36

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2013/4/15



スーパーFJ ツインリンクもてぎシリーズ 第 2 戦

4月15日(日) 予選・決勝 1 LAP=4.801km 出走：15台  
天候：晴 コース：ドライ 気温：20℃ 湿度：22% 路温：27℃  
ドライバー：深村 匠 (アルビ GIA ミスト KK-SED #34)  
湊 雅之 (アルビ RT 玉三郎 Dream. #36)  
予選結果：湊選手 6位 深村選手 14位  
決勝結果：湊選手 **6位入賞** 深村選手 13位

**通常とは異なる2ヒート制のレースとなった茂木第2戦！**  
**スタート直後の混乱をうまくかわした湊選手が今シーズン初入賞！！**

今回のレースは従来どおり予選を行った後、6周で争われる決勝第1ヒートを行い、その着順で決勝第2ヒートのグリッド順を決める2ヒート制のレースとなった。

#### ■4月15日(日) 予選

10時45分予選開始。ピット割の都合上、後方からコースインせざるを得なかった湊選手は、湊選手よりもペースの遅い車に引っかかる格好となり、なかなかいい時計をマークできない。6周目に自己ベストを出したものの、以降はそのラップを上回ることができず6番手で予選を終えた。

予選前のフリー走行を通じて調子が上向かなかった深村選手だったが、予選でもフリー走行時のタイムを出すことができず、結局普段の力を発揮できないまま14位で予選を終えた。

#### ■4月15日(日) 第1ヒート

13時34分スタート。湊選手はスタート直後の1コーナー進入で5番手に上がると、6番手のプレッシャーを受けながらも5位をキープして周回を重ねる。しかし3周目、90°コーナーでインを刺され6番手に後退してしまう。

さらに、ファイナルラップとなる6周目、ヘアピンで単独でミスをしてしまいコースオフ。この間に2台に抜かされてしまい8番手まで順位を落とすことに。結果、そのまま8

番手チェッカーとなった。

14番手スタートの深村選手は、スタート直後のダンゴ状態のまま2コーナーを過ぎる。すると3コーナー付近でうまく順位を2つ上げて12番手に。しかし、それ以降はタイムが伸びないまま6周を消化し、第2ヒートは12番手スタートとなった。

#### ■4月15日（日） 第2ヒート

15時54分決勝スタート。8番グリッドの湊選手は中団グループの中を走行中、2～3コーナーで前車2台が接触。その2台がアウト側を走行していた湊選手側にスピンし、第1戦と同じパターンでのクラッシュ・リタイヤが湊選手の頭をよぎる。しかし、前回の経験をうまく生かした湊選手はコースオフしながらもうまくかわして混乱を切り抜けることに成功する。ところが、すぐさまペースで上回る他車にかわされ7番手に後退してしまう。

その後、周回を重ねるごとに5番手争いをしている前車2台に徐々に追いついていくと、6番手争いに。湊選手は入賞圏内を目指そうと6番手に激しくプレッシャーをかけていく。

すると9周目、90°コーナーで湊選手のプレッシャーからか6番手車両がスピン。6位にポジションを上げた湊選手はそのままチェッカーを受け、今シーズン初の入賞をマークした。

一方、12番手スタートの深村選手は調子を取り戻すことができないまま1周目に1つポジションを落としてしまう。そのまま周回を重ねていき、7周目からようやくタイムが上がってきたが追いつくまでには至らずそのまま13番手チェッカーとなった。

#### ○湊選手コメント

第1ヒートでは自分ひとりでミスをしてしまいもったいなかったです。予選の戦い方もあまりよくなかったなので、表彰台に立てなかった今回の結果は残念でした。来週は東北シリーズの開幕になるので、うまく流れを変え、いい結果を残せるように頑張ります。

#### ○深村選手コメント

今回はレースウィークを通じて流れがよくありませんでした。うまく自分のペースをつかむことができず、悔いの残るレースでしたが、今回の経験を生かして来月の第3戦につなげていきたいです。

#### ○中村監督コメント

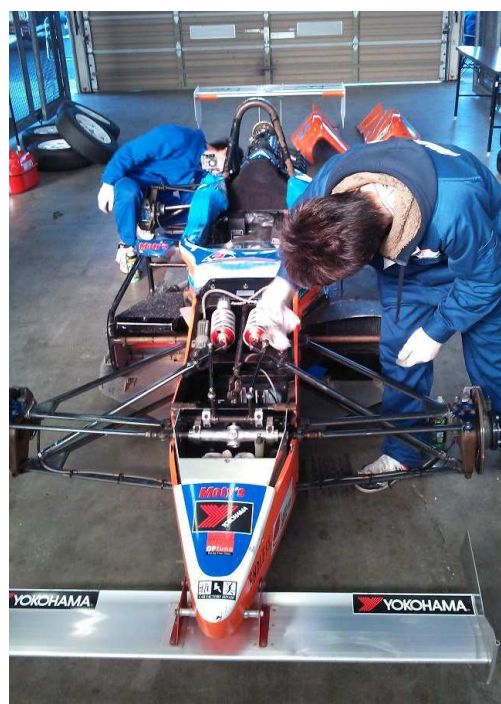
湊選手に関しては表彰台を狙っていましたが、ピット割の位置から予選は思うようなポジショニングとクリアラップが取れず、満足のいく結果とはなりません。これは次回の予選の反省点にします。第1ヒートについては最低ポジションキープ、作戦では1台をパスする予定でしたが、6周というショートスプリントの中、最終ラップにミスを犯し2つポジションを落としてしまったことは非常に残念です。

深村選手は本人の努力はあったものの、全てにおいてまだ迷いがあるようです。

第2ヒート、湊選手はスタート直後の混乱の中、前回のクラッシュにより学習し、混乱をうまく避けることができました。ポジションも落とすことなくコースに復帰できたのは選手の成長だと思います。それによりトップ集団とは若干距離があり追いつくことができませんでしたが、果敢にプッシュし、前車をパスできたことは選手の頑張りや成長を感じます。しかし、表彰台が目標だったので満足はしておりませんが、今後の課題も見つかりました。

もてぎシリーズは選手のレベルも高く、表彰台獲得は非常にチャレンジしがいがあります。深村選手は、努力を感じるものの自身のマインドコントロールが器用にできない様子でしたので、メンタル面を含めて更なる向上を目指します。

総じて、最低限入賞の目標を達成できたことは嬉しく思っておりますが、更なる努力をいたします。今後も引き続き応援宜しくお願いします。







**P PLUS** Nankai Plan Co.,Ltd. **鈴木会計** **MID Japan Inc.**  
埼玉・品 http://www.tcnf.com/sds Mitsui Impress Development



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ